

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス りとる・まむ						支援プログラム		作成日		2025	年	3	月	7	日	
法人（事業所）理念		障害のあるお子様の学校生活や日常生活での自立サポート支援を行い、社会において安心して過ごせる居場所として社会福祉サービス事業に参画する。																
支援方針		身辺自立を促し、「自分で、できた」と喜びの気持ちを味わい自信が持てるようになる。笑顔で、楽しく毎日が過ごせる。保護者と協力し合い、また地域社会とも連携を図り、「困りごと」「生きづらさ」を無くすことを目標とします。																
営業時間		月～土・祝		10	時	00	分	から	18	時	00	分	まで	送迎実施の有無		あり なし		
		支 援 内 容																
本人支援	健康・生活	・事業所到着より、連絡ノート提出・検温・トイレ（排出）・手洗いなどの毎回の決まりごと（スケジュール）を自ら進んでできるようにサポートしながら、日常生活習慣を習得させる。 ・連絡ノートにより、その日の心身状況を確認し、療育参加を促す。 ・それぞれの児童の発達段階によって、支援・療育方法を模索し検証を行う。																
	運動・感覚	・音楽リトミックにより、体を動かして表現力を養う。 ①リズム感・身体能力を育みながら全身を動かし歌も歌えるようにする。（ソルフエージュ）②音楽を聴いて感じたことを動きで表現（リズム運動）③自分で考えてその場で何かを表現する（即興）等の三要素の習得の促進を寄与する。スモールステップで、試みる。																
	認知・行動	・動作（動く）、静止（座る）の切り替えがスムーズにできるようにする。 ・利用児の特性、発達段階を考えた課題を毎回選択し、認知の形成・構築に繋がります。 ・個の遊びから、小集団への参加を促し、最終的には、集団参加・行動ができるようになるように育みます。																
	言語 コミュニケーション	・絵カード、絵本、紙芝居の媒体を使って視覚的なことからや、遊びの中やゲームを通して友だちとのコミュニケーションを培う。 ・音楽リトミック時に手話も取り入れることにより、手話単語への発展に導き、地域社会への参画の礎・インクルージョンへの入り口としたい。 ・併せて、自然に英語に興味を持てるように「ＡＢＣの歌」等も取り入れる。																
	人間関係 社会性	・遊びの中でも約束があることを知り、友だちとのやり取りができるようになる。 ・異年齢児の中での自己の取るべき行動を考えてみる。 ・ソーシャルスキルトレーニングを組み入れながら、社会生活での日常、ルールも分かるように取り組む。																
家族支援		・ご本人の様子や成長を保護者の方々との連携を密にし、課題に対し話し合い、適切な対処方法を取れる体制を整えていきます。								移行支援		進学の際に必要な時には、それぞれの児童の特性や発達状況の提供やサポートブックの作成をし、情報を提供できる体制作りを構築します。						
地域支援・地域連携		園・学校との情報交換・相談援助、地域の福祉施設・医療機関とは常に連携が取れるような個々の児童に関して、把握する。								職員の質の向上		継続的な研修（ＯＪＴ）や定期的な（Ｏｆｆ－ＪＴ）の参加または、面談により、職員の資質向上を図ります。						
主な行事等		季節のイベント（夏祭り・ハロウィン・クリスマス・節分）、お出かけ行事（消防署・菜園・ミニピクニック）、クッキング、工作、サーキット等																